



高知県

第 52 号 2008 年 7 月

農業技術センターニュース

目 次	
 種子冷蔵苗を利用した秋出しトルコギキョウ栽培	… 1
 無人ヘリ防除におけるドリフト調査	… 2
 高温登熟条件で栽培した本県育成系統の玄米品質	… 3
 新・省エネルギーシステムの実用化に向けた施設園芸農家の意向調査	… 4
 遺伝子診断によるスモモ‘鯨山’の父親探し	… 5
 米ナス試交系統 5 号の栽培技術	… 6

種子冷蔵苗を利用した秋出しトルコギキョウ栽培

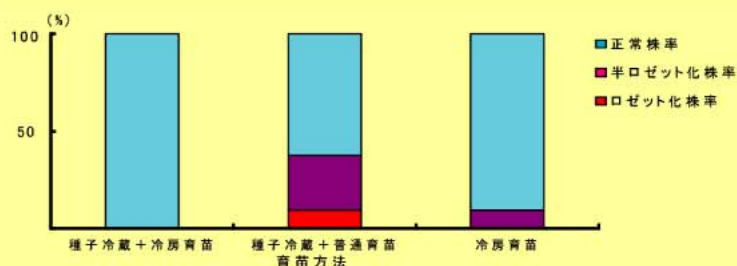


図1 育苗方法の違いが秋出しトルコギキョウ‘キングオブスノー’のロゼット化に及ぼす影響
 注) 正常(株): 地際から伸長した節間が5cm以上のもの。半ロゼット化(株): 伸長した節間が1~5cmのもの。ロゼット化(株): 伸長した節間が1cm未満のもの。定植40日後に調査。
 耕種概要: 種子冷蔵(10℃)期間: 5週間。冷房育苗期間: 種子冷蔵区は53日。普通育苗は49日間。冷房育苗は56日間育苗。

表1 育苗方法の違いが秋出しトルコギキョウ‘キングオブスノー’の生育・開花に及ぼす影響

育苗方法	平均 ^{z)} 発蕾日	平均 ^{y)} 発蕾率	平均 ^{y)} 発蕾期	平均 ^{y)} 収穫日	平均 ^{y)} 採花率	切り花品質 ^{x)}	
						切り花長	有効花蕾数
	(月/日)	(%)	(日)	(月/日)	(%)	(cm)	(個/株)
種子冷蔵+冷房育苗	9/19	100	10	11/ 9	100	73	5.2
種子冷蔵+普通育苗	10/ 5	72	24	12/ 8	17	52	3.3
冷房育苗	10/ 7	100	72	12/ 2	82	53	2.8

z: 第1花を確認した平均日。

y: 最も早かった発蕾日と最も遅かった発蕾日の日数差。

x: 調査は12月31日で打ち切り。プラスチック(つぼみの枯死)により収穫が遅れた切り花は除く。



品種‘キングオブスノー’

県内のトルコギキョウの生産には、ロゼット化(節間伸長の停止)を回避するために冷房育苗苗を用いています。しかし、他県では、ロゼット化回避に効果の高い種子冷蔵(10℃、5週間)苗を利用した栽培が導入されつつあります。そこで、本県の秋出しの作型において、種子冷蔵苗を利用した栽培の適応性について検討したので紹介します。

試験は、ロゼット化しやすい‘キングオブスノー’を用いて、種子冷蔵+冷房育苗、

種子冷蔵+普通育苗、冷房育苗(慣行)で行いました。その結果、種子冷蔵と冷房育苗を併用するとロゼット化が回避できました(図1)。また、この育苗方法によって、生育が早まり、発蕾の揃いも良くなりました。さらに、冷房育苗のみの場合に比べて、切り花長も長く、有効花蕾数も多く、品質の優れた切り花が収穫できました(表1)。

今後は、育苗期間の短縮や栽培夜温について検討する予定です。

(花き担当 平石真紀 088-863-4918)